2019年7月28日

差枚	-2200枚	RANK	B

実戦機種

HEY！鏡、押忍！番長3、SLOTバジリスク～甲賀忍法帖～Ⅲ　ほか

実戦レポート

リゼロを初めて打ち、苦戦しながらも設定6確定演出を出して勝利したのが、たしか先月の事だったか。そんなお店でリゼロが増台された直後の実戦となったこの日、こりゃあ良い番号を引いたら行くっきゃない！と思いながら引くと「11番」。あ、いつも通り平和な立ち上がりですね。

ところで件のリゼロについてだが、新パネルによる増台・導入がようやく行き渡ったようで、オレが行くホールでもまさに今日のような場面にぶち当たることが増えてきた。これまでのリゼロの扱いは、どこのホールでも「超A級クラス」で、いわゆる特定日的な強い日ではほぼ全台系の対象となり、たまに1/2とかで惑わせてくるぐらい？という印象。少なくともハズレシマになることはほぼあり得ない。よって、早い番号を引ければとにかくリゼロに走るのが正義だったが、その反面遅い番号を引いたり、リゼロ以外の機種を打ちたいと考える人たちにとっては、リゼロに出玉還元枠を取られてしまう分、少々厳しい状況だったように思う。

しかし、増台されたとなれば多少の変化はあるだろう。増やした分まで全台系の枠を広げる、なんていうリゼロ大好き慈善事業をするわけもなく、今後は「1/2で高設定」や「シマのどこかに設定6あり」といった、稼働を損なわないような仕掛けをしつつもしっかり元手も取っていく営業がメインになるはずだ。つまりリゼロに座れなかったからといって、悲観する必要はない！

前置きが長くなったが、そんなわけで朝イチに選んだ台は「HEY！鏡」。こちらもこれまでは、高設定の頻度が比較的高い機種ではあったが、リゼロの陰に隠れてしまった感が続いていたので、このタイミングで再度しっかり印象付けをするのでは？という期待だ。すると、序盤は高設定を思わせる早い周期での当選が目立っていたのだが、昼頃には徐々にメッキが剥がれ始め、天国やチャンスモードでも周期抽選をスルー、さらにここまで直撃KC＆引き戻し特訓なし。何より、隣の台が朝から5周期スルー（途中チャンスモードもあり）で、2台あわせたら全台系の可能性がほぼほぼ無くなってしまったのだ。こりゃ大怪我しないうちに移動か…。

で、その後は番長3やバジリスクⅢなどを渡り歩くも、どれもパッとしない展開。途中、悪くない挙動をする時もあるのだが、出玉が伴わないと深追いも怖い。そんな中、鏡の朝イチ5周期スルーをかましていた台に座った知人が、いきなり直撃KCを引き、その後も1&3周期目の当選が頻発。「おそらく設定5ですね」との事。…ま、マジで？　ラスト1時間だけその台を打つと、すぐ直撃KCを引き、高設定の根拠だけ強化（ノマれた）。狙いはある意味あってた…B級でいい？